

[A] 江戸幕府の成立・大名統制・朝廷統制

江戸幕府の成立		豊臣氏の滅亡	
家康	<p>1590年 関東250万石に移封(北条氏の滅亡後に関東に移封) →江戸城(戦国初期に太田道灌が築城)を拠点とする</p> <p>1600年 関ヶ原の戦い(美濃国)(天下分け目の戦いと呼ばれる)←</p> <p>----- [東軍(約10万4000人)] -----</p> <p>徳川家康(五大老の筆頭)・福島正則(秀吉子飼いの武断派) 加藤清正(秀吉子飼いの武断派)・小早川秀秋(西軍から寝返り)</p> <p>VS</p> <p>----- [西軍(約8万6000人)] -----</p> <p>石田三成(五奉行の一人)・毛利輝元(五大老の一人) 小西行長(小西隆佐の子)・宇喜多秀家(五大老の一人)</p> <p>↓(関ヶ原の戦い後)</p> <p>豊臣秀頼は一大名に転落(摂津・河内・和泉の65万石)</p>		
	<p>1603年 後陽成天皇が徳川家康を征夷大将軍に任命 翌年、全国の諸大名に対し、国単位に国絵図と郷帳の作成を命ずる ★国絵図(場所を把握する地図)・郷帳(石高を把握する検地帳)</p>		
秀忠	<p>1605年 将軍職を徳川秀忠[2代将軍]に譲る 将軍職が徳川氏の世襲制であることを豊臣氏や諸大名に示すため ★家康は駿府で大御所(隠退した前将軍のこと)として実権を握る</p> <p>1614年 大坂冬の陣(方広寺鐘銘事件が契機)←</p> <p>↓</p> <p>1615年 大坂夏の陣(豊臣秀頼・淀君(秀頼の母)自殺→豊臣家滅亡) →以後、「元和偃武」(戦のない平和の時代のこと)の到来</p>		<p>1614年 方広寺鐘銘事件(方広寺は秀吉が創建) 釣鐘の銘文「国家安康」・「君臣豊楽」を家康が問題視 ★金地院(以心)崇伝(臨済宗の僧・家康の顧問)・ 南光坊天海(天台宗の僧・家康の顧問)が関わる</p>
大名統制		朝廷統制	
秀忠	<p>1615年 一国一城令(大坂夏の陣の直後に発布される) 大名の軍事力削減のため、大名の居城以外は取り壊し(1領国1城)</p> <p>↓</p> <p>1615年 武家諸法度(元和令=13条)起草者=金地院崇伝 制定=徳川家康の命令で諸大名を伏見城に集めて、徳川秀忠の名で発布 趣旨=大名に対する基本法典(旗本・御家人には諸士法度を定める) 内容=①文武弓馬の道(文武)の奨励・②城郭の新築と無断修築の禁止 ③私婚の禁止(大名同士の婚姻は幕府の許可を必要とする) ④大名同士の徒党を禁じる・⑤法度違反者の領内隠匿の禁止 ⑥諸大名参勤の作法(参勤交代の制度化ではなく作法について)</p> <p>----- [大名の処分(武家諸法度違反・世継ぎ断絶などが理由)] -----</p> <p>①改易(領地没収)・②減封(領地削減)・③転封(国替え) ex. 福島正則(安芸広島城主→城郭修築の項に違反し所領没収) 松平忠輝(越後高田藩主)・松平忠直(越前福井藩主) 本多正純(宇都宮藩主)・加藤忠広(肥後熊本城主)</p> <p>(武家諸法度は7代家継・15代慶喜を除き、将軍の代替わりごとに発せられた)</p>		<p>1611年 徳川家康が後水尾天皇(後陽成皇子)を擁立</p> <p>1615年 禁中並公家諸法度(17条)(起草者=金地院崇伝) 趣旨=天皇・公家に対する統制法(朝廷統制の基本法令) 目的=①天皇・朝廷が自ら権力をふるうことを防ぐため ②天皇・朝廷と大名が結びつくことを防ぐため 内容=①天皇の学問第一・②公家の席次・③摂関の任免 ④武家官位は公家官位と別にする・⑤元号の制定 ⑥紫衣(高僧に与えられる紫色の衣)勅許の条件</p> <p>----- [朝廷の統制] -----</p> <p>①京都所司代(朝廷を監視する役職→初代に板倉勝重を任命) ②武家伝奏(朝暮間の連絡にあたる役職→2名の公家を任命) ③禁裏御料(天皇領)=1万石(家康)→3万石(綱吉) ④公家領(100家以上)=7万石</p>
	<p>1620年 徳川和子(徳川秀忠の娘)が後水尾天皇に入内</p>		<p>1620年 徳川和子(徳川秀忠の娘)が後水尾天皇に入内</p>
家光	<p>1635年 武家諸法度(寛永令=19条)起草者=林羅山 ①参勤交代の制度化(毎年4月交代で参勤することを義務付ける) 内容=(1)国元と江戸を1年交代で往復・大名妻子の江戸居住を強制 (2)石高に応じた人数を率いて参勤(人数を減らすよう命令) →将軍が課す軍役の一環で主従関係を確認する意味がある 影響=(1)参勤の道中費用と江戸藩邸の滞在費による藩財政の窮乏化 (2)交通(街道・宿場など)・江戸など三都の全国市場の発達 (3)江戸文化の地方伝播(大名が地方と江戸を往復するため) ★例外…関東の大名=半年交代・水戸藩=江戸定府 対馬の宗氏=3年に1回・蝦夷の松前氏=5年に1回 ②五百石積以上の大船建造禁止 ③私設の関所・津留(領内の港で物資の移出入を禁止すること)を禁止</p>		<p>1627年~紫衣事件(後水尾天皇の紫衣勅許を幕府が無効とする) ↓ →沢庵宗彭(大徳寺の僧)を出羽国に配流 1629年 後水尾天皇が明正天皇(後水尾皇女)に譲位 ★修学院離宮(後水尾上皇が造営した数寄屋造の山荘)</p> <p>1615年、幕府は禁中並公家諸法度第16条で紫衣(天皇が高僧に与える紫色の衣)着用の勅許を制限した。しかし、幕府への許可なく後水尾天皇が紫衣着用の勅許を続けたため、1627年に幕府はこれを無効として紫衣を取り上げ、抗議をした大徳寺の沢庵宗彭を出羽国に配流した。これにより、天皇の勅許より幕府の法度が優先されることが明示された。その後、これに反発した後水尾天皇は突然譲位を発表し、明正天皇(後水尾天皇と徳川和子の皇女)が即位した。</p>

幕 藩 体 制

大名（一万石以上の将軍直属の武家／260～270家）

親藩（徳川氏一門の大名→要地に配置）

ex. （御）三家＝尾張（徳川義直）・紀伊（徳川頼宣）・水戸（徳川頼房）
（御）三卿＝田安（田安宗武）・一橋（一橋宗尹）・清水（清水重好）

譜代（三河以来の徳川氏家臣で大名に取り立てられた者→要地に配置）

外様（関ヶ原の戦い以後、徳川氏に臣従した大名→遠方に配置）

〔諸大名の負担〕

- ①戦時＝軍役（石高に応じて、一定数の武器・人数を用意する）
- ②平時＝普請役（城郭・河川工事などの土木事業に動員するお手伝い（普請）など）

直参（一万石未満の将軍直属の家臣／約22000人）

旗本＝御目見得以上（将軍に謁見できる）

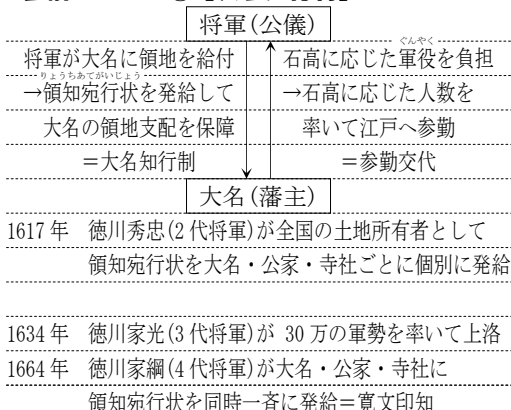
御家人＝御目見得以下（将軍に謁見できない）

★御家人のほとんどは知行地を持たず、将軍から俸禄（蔵米）を支給される

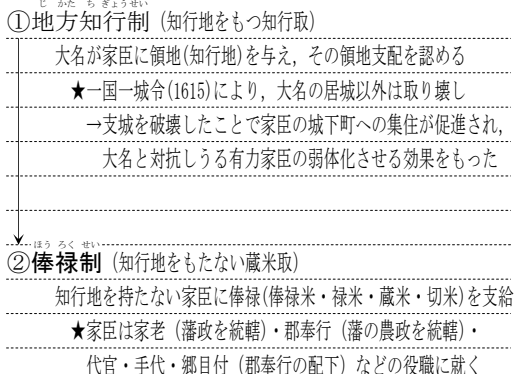
〔江戸幕府の経済基盤〕

- ①幕領（天領）＝約400万石（総石高の約7分の1） ★総石高＝約3000万石
- ②旗本知行地＝約300万石（天領・旗本領の合計＝総石高の約4分の1）
- ③直轄鉱山＝佐渡相川（金山）・石見大森・但馬生野（銀山）
★大久保長安（徳川家康の側近として佐渡金山・石見銀山などの鉱山開発にあたる）
- ④直轄都市＝江戸（将軍のお膝元＝人口15万人→100万人）
（三都） 大坂（天下の台所＝人口30万人→40万人）
京都（千年の古都＝人口40万人→35万人）

図解NOTE① [大名知行制]



図解NOTE② [藩政]



→譜代大名より任命

大老（臨時の最高職）

★酒井・井伊・土井・堀田の4氏から任命

老中（政務の総括・常置の最高職）

★初期は年寄という

若年寄（老中の補佐・旗本と御家人の統轄）

寺社奉行（寺社の監察）

★金地院崇伝の死により機構化された

京都所司代（朝廷・西国大名の監察）

★京都町奉行などを統轄

大坂城代（西国大名の監察）

→旗本より任命

勘定奉行（幕府の財政・天領の訴訟）

（江戸）町奉行（江戸の行政・司法）

遠国奉行（江戸を離れた幕府直轄地の民政）

〔町奉行（大坂・京都・駿府）〕

〔奉行（長崎・日光・佐渡・山田・奈良・堺）〕

城代（伏見・二条・駿府）

大目付（大名の監察）

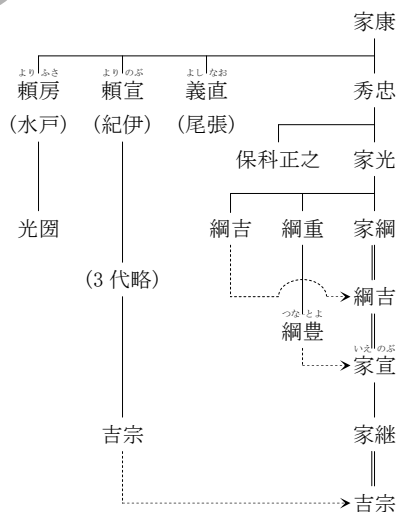
目付（旗本・御家人の監察）

郡代（広域の天領を支配＝関東・飛騨・美濃）

代官（その他の天領を支配）

与力（下級役人）・同心（与力の支配下）

図解NOTE [将軍家系図]



〔職制の特色（職制は徳川家光の頃に整う）〕

- ①合議制（要職には複数名を任命し合議）
- ②月番制（複数の担当者が1ヵ月交代で勤務）
- ③評定所（幕府の最高司法機関）
老中・三奉行（寺社・勘定・（江戸）町奉行）などで
構成され、重大事件や管轄のまたがる事項を合議

大名	石高	配置	要職
親藩	多	要地	×
譜代	少	要地	○
外様	多	遠方	×

★幕末になると、親藩・御三家の
幕政参加もみられるようになる

	農 民 統 制	宗 教 統 制
家 光	<p>1641年～寛永の飢饉(干ばつ・冷害・大風雨などによる全国的凶作)</p> <p>→1643年 田畑勝手作の禁令(→明治時代の1871年に廃止)</p> <p>本田畑での商品作物(たばこ・木綿・菜種など)の栽培を禁止</p> <p>→1643年 田畑永代売買の禁令(→明治時代の1872年に廃止)</p> <p>豪農への土地集中と本百姓の没落防止のために田畑の売買を禁止</p> <p>1649年 慶安の触書(農民の日常生活のあり方など32か条の心得)</p> <p>法令遵守・耕作奨励・衣食住の制限など生活細部まで厳しく規制</p> <p>★現在は1649年の発布や存在自体が疑問視されている</p>	<p>— [禁教政策(島原の乱を契機にキリスト教弾圧を強化)] —</p> <p>①絵踏(キリストやマリアが描かれた踏絵を踏ませる)</p> <p>②宗門改(幕府の宗門改役が行った禁教目的の信仰調査)</p> <p>→宗門改帳(宗旨人別帳)を作成(戸籍の役割となる)</p> <p>家族ごとに名・年齢・宗旨(所属宗派)・檀那寺などを記載</p> <p>③寺請制度(一般民衆を寺院の檀家になることを強制させる制度)</p> <p>★キリスト教・日蓮宗不受不施派を信仰させないことが目的</p> <p>→寺請証文(宗旨手形)を檀那寺が発行</p> <p>檀那寺が自分の檀家であることを証明するため発行する文書</p>
	<p>図解NOTE [貨幣経済の浸透(江戸中期)]</p> <p>①農業生産力の向上(耕地面積の拡大・農業技術の発達が背景)</p> <p>→商品作物を栽培(市場などで商品作物を売って貨幣を獲得)</p> <p>②農村への貨幣経済(商品経済)の浸透</p> <p>→本百姓体制の動揺(本百姓が豪農・貧農に階層分化)</p> <p>③貧農は田畑を質入れして豪農から借金</p> <p>→質入れた田畑(質地)をとられる=質流れ</p> <p>④貧農が本百姓から小作人に転落 or 都市に流入</p>	<p>(1601年～寺院法度(諸宗諸本山法度))</p> <p>真言宗・天台宗など各宗派の大寺院ごとに出版された</p> <p>寺院・僧侶を統制するための法令の総称(1601～1616)</p> <p>→本山(中心寺院)・末寺(一般寺院)の関係を制度化</p> <p>— [寺社(寺院・神社)の統制] —</p> <p>①寺社奉行(寺社を監察する→金地院崇伝の死後に制度化)</p> <p>②寺社伝奏(寺社からの申し立てを武家伝奏に取り次ぐ)</p> <p>③寺社領(寺社領は税免除) = 40万石</p> <p>④本末制度(寺院法度によって一宗派一本山と定められる)</p> <p>宗派ごとの本山・末寺の関係による寺院の寺格制度</p> <p>⑤隠元隆琦(明の僧)が黄檗宗を伝える(1654)</p> <p>万福寺(宇治の黄檗宗本山)・崇福寺(長崎の黄檗宗寺院)</p>
家 綱	<p>1673年 分地制限令(分割相続による土地の細分化を防止するため)</p> <p>名主は20石・一般百姓は10石以上の石高を所持していれば</p> <p>分地(土地の分割)を認めるが、それ以下の農民の分地は禁止</p> <p>(1713年 分地制限令改正)(徳川家継[7代将軍]時に改正)</p> <p>分地高・残高ともに石高10石・地面1町以上の所持を必要とする</p> <p>→石高20石・地面2町以上を所持していなければ分地できない</p> <p>★分地高(分け与える土地)・残高(分け与えた後に残る土地)</p>	<p>1665年 諸宗寺院法度(各宗派共通の寺院を統制するための法令)</p> <p>1665年 諸社禰宜神主法度(神社・神職を統制するための法令)</p> <p>吉田家(吉田神道)が神道の本所として統制(白川家は衰退)</p>

[NOTE]

<宗教(仏教・神道・キリスト教)>

①仏教(外国伝来の世界宗教)………仏(釈迦如来・大日如来・阿弥陀如来など)を信仰し、祀るため寺院を建立

②神道(日本古来の民族宗教)………日本固有の神々(天照大神・大国主神など)を信仰し、祀るため神社を建立

③キリスト教・日蓮宗不受不施派……幕府権力よりも宗教を優越するため弾圧

→(1)キリスト教の布教がスペイン・ポルトガルの侵略を招く恐れがある、(2)信徒が信仰のために団結する恐れがある

<本末制度>

①寺院法度(1601～16)……真言宗など宗派ごとに個別に発布

→本山・末寺の関係を制度化

②諸宗寺院法度(1665)……宗派関係なしに全宗派一括で発布

<宗門改・寺請制度>

①島原の乱(1637～38)を契機に、キリスト教徒の摘発のため、

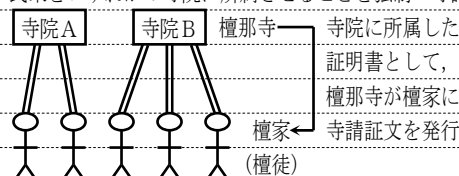
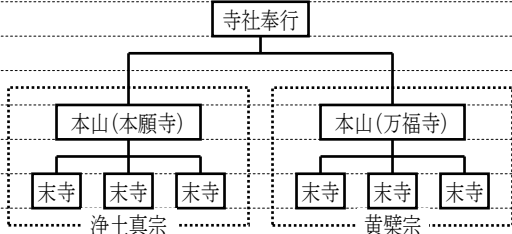
住民の宗旨(信仰する宗派)を宗門改役が定期的に調査=宗門改

→家族ごとに名前・年齢・性別・住所・宗旨(信仰する宗派)

などを宗門改帳(宗旨人別帳)に記録して把握

②キリスト教・日蓮宗不受不施派を信仰させないため、

民衆をいずれかの寺院に所属させることを強制=寺請制度



寺院に所属した
証明書として、
檀那寺が檀家に
寺請証文を発行
(檀徒)

士	武士＝将軍・大名（一万石以上の将軍直属の武家）・直参（一万石未満の将軍直属の旗本・御家人）・陪臣（大名・旗本などの家臣） →苗字・帯刀（農工商の者でも苗字・帯刀が特別に認められる場合がある）・切捨御免（農民・町人から非礼を受けた場合は斬殺しても無罪）の特権									
農	農民（検地による村切りを通して支配単位としての村の範囲を確定→幕領では郡代・代官、藩では郡奉行が支配）★全国の村の数＝6万3000余り →村法（村掟）（入会地・用水の管理など村ごとに定められた法）・村入用（村人から徴収された村を運営するための費用） <div><div>〔村方三役（村政にあたる村役人）〕 名主（村政全般を統轄） ★関西では庄屋・東北では肝煎と呼ぶ 組頭（名主の補佐役） 百姓代（村民の代表で名主・組頭を監視）</div><div>〔本百姓（田畑を持つ）〕 検地帳に田畑・屋敷地を登録される高持百姓 →租税負担義務を持ち、村政に参加できる ★有力本百姓の隷属農民＝名子・被官など</div><div>〔水呑百姓（田畑を持たない）〕 村政に参加できず、田畑を持たない無高百姓 →他人の田畑の小作や日雇仕事で生活する</div></div> <div><div>〔本百姓の負担（物納が原則だが貨幣納も可能）〕<table><tr><td></td><td>税 率</td><td>徴 税 法</td></tr><tr><td>初 期</td><td>四公六民</td><td>検見法（豊作・凶作に応じて税率を決定）</td></tr><tr><td>享保期</td><td>五公五民</td><td>定免法（豊作・凶作に関わらず税率は一定）</td></tr></table><div>①村請制（名主を納入責任者として村全体で年貢を納入） ②五人組（年貢納入と犯罪防止・キリシタン防止に連帯責任を負わせる） ③結・もやい（田植や稲刈などの相互扶助の共同労働・共同利益配分） ④村八分（村掟に違反した者への制裁として葬式と火災以外は交際断絶）</div></div></div>		税 率	徴 税 法	初 期	四公六民	検見法（豊作・凶作に応じて税率を決定）	享保期	五公五民	定免法（豊作・凶作に関わらず税率は一定）
	税 率	徴 税 法								
初 期	四公六民	検見法（豊作・凶作に応じて税率を決定）								
享保期	五公五民	定免法（豊作・凶作に関わらず税率は一定）								
工・商（町人）	町人（都市に住む商工業者の共同体的な自治組織として町を形成→町奉行が支配）★城下町では武家地・寺社地・町人地にそれぞれ分けられる →町法（町掟）（城下町などの町ごとに独自に定められた法）・町入用（町人から徴収された町を運営するための費用） <div><div>〔町役人（町政を担当する役人）〕 町年寄（町政全般を統轄） 町名主（町年寄の下にいる役人） 月行事（月交代で町名主・町年寄を補佐）</div><div>〔本町人（土地・家屋を持つ町人）〕 地主（土地を持ち、町政に参加できる） 家持（家屋を持ち、町政に参加できる）</div><div>〔町人（土地・家屋を持たない町人）〕 地借（土地を借りて自ら家屋を建てる） 店借（家屋ごと借りる→店賃を払う） ↓ ①日雇（日用）（一日単位で雇われる） ②棒手振（天秤棒で商品を担いで売る） ③奉公人（主人の家に住込みで従事する） ★商家奉公人…丁稚→手代→番頭と昇進 徒弟奉公人…徒弟（親方の弟子となる）</div></div> <div><div>〔本町人の負担（上下水道の整備・城郭や堀の清掃などの町人夫役も課せられる）〕<table><tr><td>①冥加・運上（営業許可時に上納する献金・営業に対して一定の税率で上納する営業税）</td></tr><tr><td>②御用金（幕府・諸藩が財政不足を補うため、御用商人らに課した臨時・不定期の賦課金）</td></tr><tr><td>③地子銭（屋敷の面積に応じてかかる宅地税→三都など城下町では地子銭免除が多い）</td></tr></table></div></div>	①冥加・運上（営業許可時に上納する献金・営業に対して一定の税率で上納する営業税）	②御用金（幕府・諸藩が財政不足を補うため、御用商人らに課した臨時・不定期の賦課金）	③地子銭（屋敷の面積に応じてかかる宅地税→三都など城下町では地子銭免除が多い）						
①冥加・運上（営業許可時に上納する献金・営業に対して一定の税率で上納する営業税）										
②御用金（幕府・諸藩が財政不足を補うため、御用商人らに課した臨時・不定期の賦課金）										
③地子銭（屋敷の面積に応じてかかる宅地税→三都など城下町では地子銭免除が多い）										
賤民	穢多（皮革・農業・行刑役・死牛馬の処理などに従事→中世からの隷属民で西日本では皮多、東日本では長吏ともいう） 非人（物乞い・遊芸・清掃・番人などに従事→乞食・犯罪・心中未遂などの転落者で旧身分に復帰する足洗いができる）									

[NOTE]

[婚姻・離婚形態]

①家父長制（女性に相続権はなく、男性の戸主権が強い→男尊女卑の家族制度）

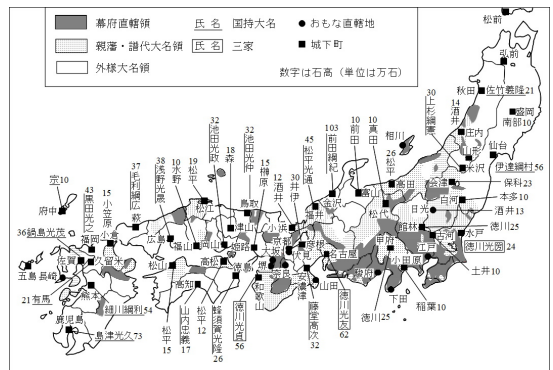
ex. 貝原益軒『女大学』（女性に「三従の教え」が美德と説く）

★幼いときは父に、嫁いでは夫に、夫が死んだ後は子に従えという教え

②三行半（縁祿状・離別状）（夫が妻に交付する文書→再婚許可の確認にもなる）

③縁切寺（駆込寺・駆入寺） ex. 東慶寺（鎌倉）・満徳寺（上野世良田）

縁祿状を渡さない夫に対して、女性が3年間尼として在寺すると離婚の権利を与える寺



[A] 江戸幕府の成立・大名統制・朝廷統制

江戸幕府の成立		豊臣氏の滅亡	
1590年 関東_____万石に移封(北条氏の滅亡後に関東に移封) → _____城(戦国初期に_____が築城)を拠点とする _____年 _____の戦い(_____国)(天下分け目の戦いと呼ばれる)← [東軍(約10万4000人)] _____ (五大老の筆頭)・福島正則(秀吉子飼いの武断派) 加藤清正(秀吉子飼いの武断派)・小早川秀秋(西軍から寝返り)		1598年 豊臣秀吉の死去(子の豊臣秀頼が跡を継ぐ) 豊臣家臣の対立(武断派は徳川家康への接近をはかる) →文治派(石田三成)VS武断派(福島正則・加藤清正) [西軍(約8万6000人)] _____ (五奉行の一人)・_____ (五大老の一人) _____ (小西隆佐の子)・宇喜多秀家(五大老の一人) VS ↓(関ヶ原の戦い後) _____は一大名に転落(_____._____._____.の_____万石)	
_____年 後陽成天皇が徳川家康を_____に任命 翌年、全国の諸大名に対し、国単位に_____と_____の作成を命ずる ★ _____(場所を把握する地図)・ _____(石高を把握する検地帳)			
_____年 将軍職を_____ [2代将軍]に譲る 将軍職が徳川氏の世襲制であることを豊臣氏や諸大名に示すため ★家康は_____で_____ (隠退した前将軍のこと)として実権を握る			
1614年 _____ (方広寺鐘銘事件が契機) ← ↓ _____年 _____ (_____ (秀頼の母)自殺→豊臣家滅亡) →以後、「_____」(戦のない平和の時代のこと)の到来		1614年 _____ 鐘銘事件(方広寺は秀吉が創建) 釣鐘の銘文「_____」・「_____」を家康が問題視 ★ _____ (臨濟宗の僧・家康の顧問)・ _____ (天台宗の僧・家康の顧問)が関わる	
大名統制		朝廷統制	
_____年 _____ (大坂夏の陣の直後に發布される) ↓ _____年 _____ (_____ 令=_____条)起草者= _____ 制定= _____の命令で諸大名を _____ 城に集めて、 _____の名で発布 趣旨=大名に対する基本法典(旗本・御家人には諸士法度を定める) 内容=① _____の道(文武)の奨励・②城郭の新築と無断修築の禁止 ③ _____の禁止(大名同士の婚姻は幕府の許可を必要とする) ④大名同士の使役を禁じる・⑤法度違反者の領内隠匿の禁止 ⑥諸大名参勤の作法(参勤交代の制度化ではなく作法について) [大名の処分(武家諸法度違反・世継ぎ断絶などが理由)] ① _____ (領地没収)・② _____ (領地削減)・③ _____ (国替え) ex. _____ (安芸広島城主→城郭修築の項に違反し所領没収) 松平忠輝(越後高田藩主)・松平忠直(越前福井藩主) _____ (宇都宮藩主)・ _____ (肥後熊本城主)		1611年 徳川家康が _____ 天皇(後陽成皇子)を擁立 _____年 _____ (_____ 条)(起草者= _____) 趣旨=天皇・公家に対する統制法(朝廷統制の基本法令) 目的=①天皇・朝廷が自ら権力をふるうことを防ぐため ②天皇・朝廷と大名が結びつくことを防ぐため 内容=①天皇の _____ 第一・②公家の席次・③摂関の任免 ④武家官位は公家官位と別にする・⑤元号の制定 ⑥ _____ (高僧に与えられる紫色の衣)勅許の条件 [朝廷の統制] ① _____ (朝廷を監視する役職→初代に板倉勝重を任命) ② _____ (朝幕間の連絡にあたる役職→2名の公家を任命) ③ _____ (天皇領)=1万石(家康)→3万石(綱吉) ④公家領(100家以上)=7万石	
(武家諸法度は7代家継・15代慶喜を除き、将軍の代替わりごとに発せられた)		1620年 _____ (徳川秀忠の娘)が _____ 天皇に入内	
_____年 _____ (_____ 令=_____条)起草者= _____ ① _____の制度化(毎年 _____ 月交代で参勤することを義務付ける) 内容=(1) <u>国元と江戸を1年交代で往復・大名妻子の江戸居住を強制</u> (2) 石高に応じた人数を率いて参勤(人数を減らすよう命令) →将軍が課す軍役の一環で主従関係を確認する意味がある 影響=(1) <u>参勤の道中費用と江戸藩邸の滞在費による藩財政の窮乏化</u> (2) <u>交通(街道・宿場など)・江戸など三都の全国市場の発達</u> (3) <u>江戸文化の地方伝播(大名が地方と江戸を往復するため)</u> ★例外…関東の大名=半年交代・水戸藩=江戸定府 対馬の宗氏=3年に1回・蝦夷の松前氏=5年に1回 ② _____ 石積以上の大船建造禁止 ③私設の _____ (領内の港で物資の移出入を禁止すること)を禁止		1627年~ _____ (後水尾天皇の紫衣勅許を幕府が無効とする) ↓ → _____ (大徳寺の僧)を _____ 国に配流 1629年 _____ 天皇が _____ 天皇(後水尾皇女)に譲位 ★ _____ (_____ 上皇が造営した _____ の山荘) 1615年、幕府は禁中並公家諸法度第16条で _____ (天皇が高僧に与える紫色の衣)着用の勅許を制限した。しかし、幕府への許可なく後水尾天皇が紫衣着用の勅許を続けたため、1627年に幕府はこれを無効として紫衣を取り上げ、抗議をした大徳寺の _____ を _____ 国に配流した。これにより、 <u>天皇の勅許より幕府の法度が優先される</u> ことが明示された。その後、これに反発した _____ 天皇は突然譲位を発表し、 _____ 天皇(後水尾天皇と徳川和子の皇女)が即位した。	

[B] 幕藩体制 (幕府と藩による民衆支配体制)

幕 藩 体 制

(石以上の将軍直属の武家 / ~ 家)

(徳川氏一門の大名→要地に配置)

ex. _____ = _____ (_____) ・ _____ (_____) ・ _____ (_____)
 _____ = _____ (_____) ・ _____ (宗尹) ・ _____ (重好)

(三河以来の徳川氏家臣で大名に取り立てられた者→要地に配置)

(_____ の戦い以後、徳川氏に臣従した大名→遠方に配置)

[諸大名の負担]

- ①戦時 = _____ (石高に応じて、一定数の武器・人数を用意する)
 ②平時 = _____ (城郭・河川工事などの土木事業に動員する _____ など)

(一万石未満の将軍直属の家臣 / 約 22000 人)

_____ = _____ 以上 (将軍に謁見できる)

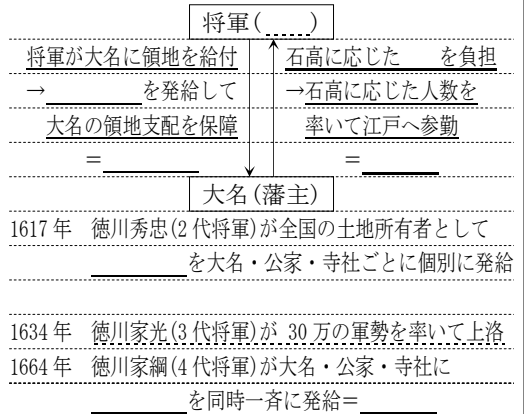
_____ = _____ 以下 (将軍に謁見できない)

★御家人のほとんどは知行地を持たず、将軍から俸禄(蔵米)を支給される

[江戸幕府の経済基盤]

- ① _____ (_____) = 約 _____ 万石 (総石高の約 分の 1) ★総石高 = 約 _____ 万石
 ② _____ = 約 _____ 万石 (天領・旗本領の合計 = 総石高の約 分の 1)
 ③直轄鉱山 = _____ (金山) ・ _____ (銀山)
 ★ _____ (徳川家康の側近として佐渡金山・石見銀山などの鉱山開発にあたる)
 ④直轄都市 = _____ (将軍のお膝元 = 人口 15 万人→100 万人)
 (三都) _____ (天下の台所 = 人口 30 万人→40 万人)
 _____ (千年の古都 = 人口 40 万人→35 万人)

図解NOTE① [大名知行制]



図解NOTE② [藩政]

- ① _____ (知行地をもつ知行取)
 大名が家臣に領地(知行地)を与え、その領地支配を認める
 ★一国一城令(1615)により、大名の居城以外は取り壊し
 →支城を破壊したことで家臣の城下町への集住が促進され、
 大名と対抗しうる有力家臣の弱体化させる効果をもった
- ② _____ (知行地をもたない蔵米取)
 知行地を持たない家臣に俸禄(俸禄米・禄米・蔵米・切米)を支給
 ★家臣は _____ (藩政を統轄) ・ _____ (藩の農政を統轄) ・
 _____ ・手代・郷目付(郡奉行の配下)などの役職に就く

→ _____ より任命

(臨時の最高職)

★ _____ の 4 氏から任命

(政務の総括・常置の最高職)

★初期は _____ という

(老中の補佐・旗本と御家人の統轄)

(寺社の監察)

★ _____ の死により機構化された

(朝廷・西国大名の監察)

★京都町奉行などを統轄

(西国大名の監察)

→ _____ より任命

(幕府の財政・天領の訴訟)

(江戸の行政・司法)

(江戸を離れた幕府直轄地の民政)

〔奉行 (_____) 〕

(_____)

(大名の監察)

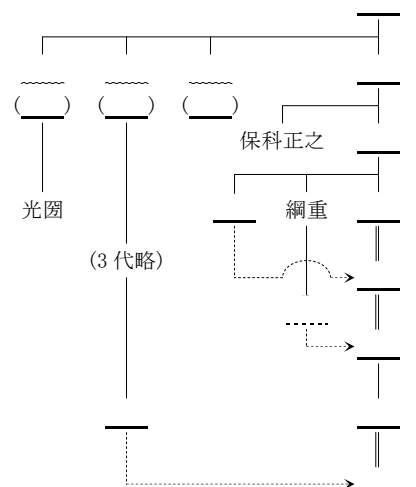
(旗本・御家人の監察)

(広域の天領を支配 = _____)

(その他の天領を支配)

(下級役人) ・ _____ (与力の支配下)

図解NOTE [将軍家系図]



[職制の特色 (職制は _____ の項に整う)]

- ① _____ 制 (要職には複数名を任命し合議)
 ② _____ 制 (複数の担当者が 1 ヶ月交代で勤務)
 ③ _____ (幕府の最高司法機関)
 _____ (_____) などで
 構成され、重大事件や管轄のまたがる事項を合議

大名	石高	配置	要職
親藩	多	要地	×
譜代	少	要地	○
外様	多	遠方	×

★幕末になると、親藩・御三家の
幕政参加もみられるようになる

農 民 統 制	宗 教 統 制
<p>1641 年～ _____ (干ばつ・冷害・大風雨などによる全国的凶作) _____ 年 _____ (→明治時代の _____ 年に廃止) 本田畑での商品作物 (_____ ・ _____ ・ _____ など) の栽培を禁止</p> <p>_____ 年 _____ (→明治時代の _____ 年に廃止) 豪農への土地集中と本百姓の没落防止のために田畑の売買を禁止</p> <p>_____ 年 _____ (農民の日常生活のあり方など 32 か条の心得) 法令遵守・耕作奨励・衣食住の制限など生活細部まで厳しく規制 ★現在は 1649 年の発布や存在自体が疑問視されている</p> <div data-bbox="134 498 710 826" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>図解 NOTE [貨幣経済の浸透(江戸中期)]</p> <p>① 農業生産力の向上 (耕地面積の拡大・農業技術の発達が背景) → 商品作物を栽培 (市場などで商品作物を売って貨幣を獲得)</p> <p>② 農村への貨幣経済(商品経済)の浸透 → 本百姓体制の動揺 (本百姓が豪農・貧農に階層分化)</p> <p>③ 貧農は田畑を質入れして豪農から借金 → 質入れた田畑 (_____) をとられる = _____</p> <p>④ 貧農が本百姓から小作人に転落 or 都市に流入</p> </div>	<p>— [禁教政策 (島原の乱を契機にキリスト教弾圧を強化)] —</p> <p>① _____ (キリストやマリアが描かれた _____ を踏ませる) ② _____ (幕府の宗門改役が行った禁教目的の信仰調査) → _____ (_____) を作成 (戸籍の役制となる) 家族ごとに名・年齢・宗旨 (所属宗派)・檀那寺などを記載</p> <p>③ _____ (一般民衆を寺院の檀家になることを強制させる制度) ★キリスト教・日蓮宗 _____ を信仰させないことが目的</p> <p>→ _____ (宗旨手形) を檀那寺が発行 _____ が自分の _____ であることを証明するため発行する文書</p> <p>(1601 年～ _____ (_____))</p> <p>真言宗・天台宗など各宗派の大寺院ごとに出版された 寺院・僧侶を統制するための法令の総称 (1601～1616) → _____ (中心寺院)・ _____ (一般寺院) の関係を制度化</p> <p>— [寺社(寺院・神社)の統制] —</p> <p>① _____ (寺社を監察する→ _____ の死後に制度化) ② 寺社伝奏 (寺社からの申し立てを武家伝奏に取り次ぐ) ③ 寺 社 領 (寺社領は税免除) = 40 万石 ④ _____ (寺院法度によって一宗派一山と定められる) 宗派ごとの _____ ・ _____ の関係による寺院の寺格制度 ⑤ _____ (明の僧) が _____ を伝える (_____ 年) _____ 寺 (宇治の黄檗宗本山)・ _____ 寺 (長崎の黄檗宗寺院)</p>
<p>_____ 年 _____ (分割相続による土地の細分化を防止するため) 名主は _____ 石・一般百姓は _____ 石以上の石高を所持していれば 分地 (土地の分割) を認めるが、それ以下の農民の分地は禁止</p> <p>(_____ 年 _____ 改正) (徳川家継 [7 代将軍] 時に改正) 分地高・残高ともに石高 _____ 石・地面 _____ 町以上の所持を必要とする → 石高 _____ 石・地面 _____ 町以上を所持していなければ分地できない ★分地高 (分け与える土地)・残高 (分け与えた後に残る土地)</p>	<p>_____ 年 _____ (各宗派共通の寺院を統制するための法令)</p> <p>1665 年 _____ (神社・神職を統制するための法令) _____ 家 (吉田神道) が神道の本所として統制 (_____ 家は衰退)</p>

[NOTE]

< 宗教(仏教・神道・キリスト教) >

① 仏教(外国伝来の世界宗教)……… 仏(釈迦如来・大日如来・阿弥陀如来など)を信仰し、祀るため寺院を建立

② 神道(日本古来の民族宗教)……… 日本固有の神々(天照大神・大国主神など)を信仰し、祀るため神社を建立

③ キリスト教・ _____ …… 幕府権力よりも宗教を優越するため弾圧

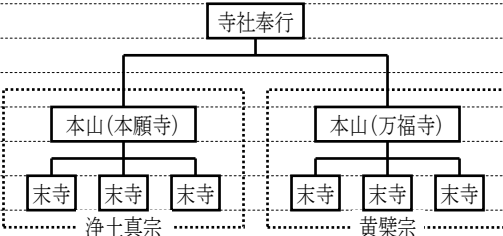
→ (1) キリスト教の布教がスペイン・ポルトガルの侵略を招く恐れがある, (2) 信徒が信仰のために団結する恐れがある

< 本末制度 >

① 寺院法度 (1601～16) …… 真言宗など宗派ごとに個別に発布

→ 本山・末寺の関係を制度化

② 諸宗寺院法度 (1665) …… 宗派関係なしに全宗派一括で発布



< 宗門改・寺請制度 >

① 島原の乱 (1637～38) を契機に, キリスト教徒の摘発のため,

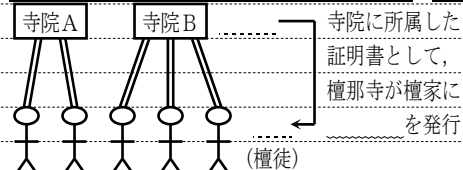
住民の宗旨(信仰する宗派)を宗門改役が定期的に調査 = _____

→ 家族ごとに名前・年齢・性別・住所・宗旨(信仰する宗派)

などを _____ (_____) に記録して把握

② キリスト教・日蓮宗不受不施派を信仰させないため,

民衆をいずれかの寺院に所属させることを強制 = _____



[B] 身分制度(士農工商)

士	武士＝将軍・大名（一万石以上の将軍直属の武家）・直参（一万石未満の将軍直属の旗本・御家人）・_____（大名・旗本などの家臣） → _____・ _____（農工商の者でも苗字・帯刀が特別に認められる場合がある）・ _____（農民・町人から非礼を受けた場合は斬殺しても無罪）の特権																					
農	農民（検地による _____ を通して支配単位としての村の範囲を確定→幕領では _____、藩では郡奉行が支配） ★全国の村の数＝ _____ 余り → 村法（村掟）（入会地・用水の管理など村ごとに定められた法）・ _____（村人から徴収された村を運営するための費用） <div><div>「 _____（村政にあたる村役人）」 _____（村政全般を統轄） ★関西では _____・東北では _____ と呼ぶ _____（名主の補佐役） _____（村民の代表で名主・組頭を監視）</div><div>「 _____（田畑を持つ）」 検地帳に田畑・屋敷地を登録される高持百姓 → 租税負担義務を持ち、村政に参加できる ★有力本百姓の隷属農民＝ _____ など</div><div>「 _____（田畑を持たない）」 村政に参加できず、田畑を持たない無高百姓 → 他人の田畑の小作や日雇仕事で生活する</div></div> <div><div>「本百姓の負担（物納が原則だが貨幣納も可能）」 ① _____（田畑・屋敷地にかかる本年貢） ★米穀や貨幣で領主に納めるのが標準 ② _____（山野・河海や副業の収益にかかる雑税） ③ _____（村高（村の石高の総計）に応じてかかる附加税） ★高掛三役（伝馬宿入用・六尺給米・蔵前入用） ④ _____（土木工事など一団単位で臨時にかかる夫役） ⑤ _____（宿駅に公用交通用の人馬を提供する夫役） ⑥ _____（伝馬役の不足の際に人馬を補充する夫役） ★ _____ と呼ばれる街道周辺の指定された村のみにかかる</div><div><table><tr><td></td><td>税 率</td><td>徴 税 法</td></tr><tr><td>初 期</td><td>公 民</td><td>_____（豊作・凶作に応じて税率を決定）</td></tr><tr><td>享保期</td><td>公 民</td><td>_____（豊作・凶作に関わらず税率は一定）</td></tr><tr><td>① _____</td><td></td><td>（名主を納入責任者として村全体で年貢を納入）</td></tr><tr><td>② _____</td><td></td><td>（年貢納入と犯罪防止・キリシタン防止に連帯責任を負わせる）</td></tr><tr><td>③ _____・ _____</td><td></td><td>（田植や稲刈などの相互扶助の共同労働・共同利益配分）</td></tr><tr><td>④ _____</td><td></td><td>（村掟に違反した者への制裁として葬式と火災以外は交際断絶）</td></tr></table></div></div>		税 率	徴 税 法	初 期	公 民	_____（豊作・凶作に応じて税率を決定）	享保期	公 民	_____（豊作・凶作に関わらず税率は一定）	① _____		（名主を納入責任者として村全体で年貢を納入）	② _____		（年貢納入と犯罪防止・キリシタン防止に連帯責任を負わせる）	③ _____・ _____		（田植や稲刈などの相互扶助の共同労働・共同利益配分）	④ _____		（村掟に違反した者への制裁として葬式と火災以外は交際断絶）
	税 率	徴 税 法																				
初 期	公 民	_____（豊作・凶作に応じて税率を決定）																				
享保期	公 民	_____（豊作・凶作に関わらず税率は一定）																				
① _____		（名主を納入責任者として村全体で年貢を納入）																				
② _____		（年貢納入と犯罪防止・キリシタン防止に連帯責任を負わせる）																				
③ _____・ _____		（田植や稲刈などの相互扶助の共同労働・共同利益配分）																				
④ _____		（村掟に違反した者への制裁として葬式と火災以外は交際断絶）																				
工・商（町人）	_____（都市に住む商工業者の共同体的な自治組織として _____ を形成→ _____ が支配） ★城下町では武家地・寺社地・町人地にそれぞれ分けられる → _____（ _____）（城下町などの町ごとに独自に定められた法）・ _____（町人から徴収された町を運営するための費用） <div><div>「町役人（町政を担当する役人）」 _____（町政全般を統轄） _____（町年寄の下にいる役人） _____（月交代で町名主・町年寄を補佐）</div><div>「本町人（土地・家屋を持つ町人）」 _____（土地を持ち、町政に参加できる） _____（家屋を持ち、町政に参加できる）</div><div>「町人（土地・家屋を持たない町人）」 _____（土地を借りて自ら家屋を建てる） _____（家屋ごと借りる→店賃を払う） ↓ ① _____（ _____）（一日単位で雇われる） ② _____（天秤棒で商品を担いで売る） ③ 奉公人（主人の家に住込みで従事する） ★商家奉公人… _____ → _____ と昇進 徒弟奉公人… _____（親方の弟子となる）</div></div> <div><div>「本町人の負担（上下水道の整備・城郭や堀の清掃などの町人夫役も課せられる）」 ① _____・ _____（営業許可時に上納する献金・営業に対して一定の税率で上納する営業税） ② _____（幕府・諸藩が財政不足を補うため、御用商人らに課した臨時・不定期の賦課金） ③ _____（屋敷の面積に応じてかかる宅地税→三都など城下町では地子銭免除が多い）</div></div>																					
賤民	_____（皮革・農業・行刑役・死牛馬の処理などに従事→中世からの隷属民で西日本では皮多、東日本では長吏ともいう） _____（物乞い・遊芸・清掃・番人などに従事→乞食・犯罪・心中未遂などの転落者で旧身分に復帰する足洗いができる）																					

[NOTE]

[婚姻・離婚形態]

① 家父長制（女性に相続権はなく、男性の戸主権が強い→男尊女卑の家族制度）

ex. _____『 _____』（女性に「 _____」が美德と説く）

★幼いときは父に、嫁いでは夫に、夫が死んだ後は子に従えという教え

② _____（ _____・離婚別状）（夫が妻に交付する文書→再婚許可の確認にもなる）

③ _____（ _____・驅入寺） ex. _____（鎌倉）・ _____（上野世良田）

離婚状を渡さない夫に対して、女性が3年間尼として在寺すると離婚の権利を与える寺

